

TDM (交通需要マネジメント) ワークショップ

# 橋本駅周辺スイスイ作戦ニュース

第1号 平成22年1月

編集・発行 / (事務局) 相模原市都市交通計画課

☎042-769-8249 (直通) E-mail [toshikoutsu@city.sagamihara.kanagawa.jp](mailto:toshikoutsu@city.sagamihara.kanagawa.jp)

## ワークショップ始まる!

橋本駅南口周辺、国道413号の  
渋滞緩和に向けてスタート!

橋本駅南口や城山、津久井方面から橋本方面へ向かう国道413号は、特に朝夕の通勤時間帯は渋滞が激しく、移動手段としての道路機能の低下、住宅街や通学路が抜け道として利用されることによる交通安全の問題、自動車走行速度低下による大気汚染の悪化など、多くの問題を抱えています。

そこで実際に問題に直面している地域住民の方や道路利用者の方と市役所が協力して渋滞緩和について取り組む事になりました。

取り組みにあたっては、様々な立場の方が色々な作業を通じて知恵を出し合うことによって全体の方向性を見出す「ワークショップ」という方法で進めていきます。

「ワークショップ」は、平成22年度末までに7回程度行われ、そこでまとまった対策の中から実現性を探るために、平成23年度に社会実験を行います。



橋本駅南口の朝の交通渋滞

## みんなで意見交換しました!

平成21年12月5日(土)に、橋本公民館にて第1回ワークショップが開催されました。

30名の参加者から、橋本地区の交通課題について、さまざまな意見が出されました。

TDM(交通需要マネジメント)って何?

TDM は道路をやることだけに頼らず、今ある道路や車の使い方を工夫するなどソフト施策を中心に上手に渋滞の緩和を目指す方法なんですわね~。



各班で自己紹介と橋本駅南口周辺、国道413号の交通課題について意見交換をしました。

- ・ 橋本駅南口は朝夕は送迎の車で渋滞がひどい。
- ・ 国道413号線は、右折車両や沿道の店舗への出入りのため渋滞している。
- ・ 国道413号が渋滞しているため通学路が抜け道として使われ横断するのも危険である。

などの意見がありました。身近な道路だけあって、みなさんから活発な意見が出されました。



## 《参加者の声》

### TDM（交通需要マネジメント）について勉強しました



（※参考）ワークショップの様子

私たちが、普段利用している橋本駅周辺の交通課題について、話し合いがあるということで参加してみました。

はじめは、「TDM」「ワークショップ」など、聞きなれないことばに不安を感じましたが、スライドを使った説明を聞くうちに、地域が抱える交通問題について、市民と行政が一体となり、工夫しながら課題解決に取り組んでいくためのものだということがわかりました。

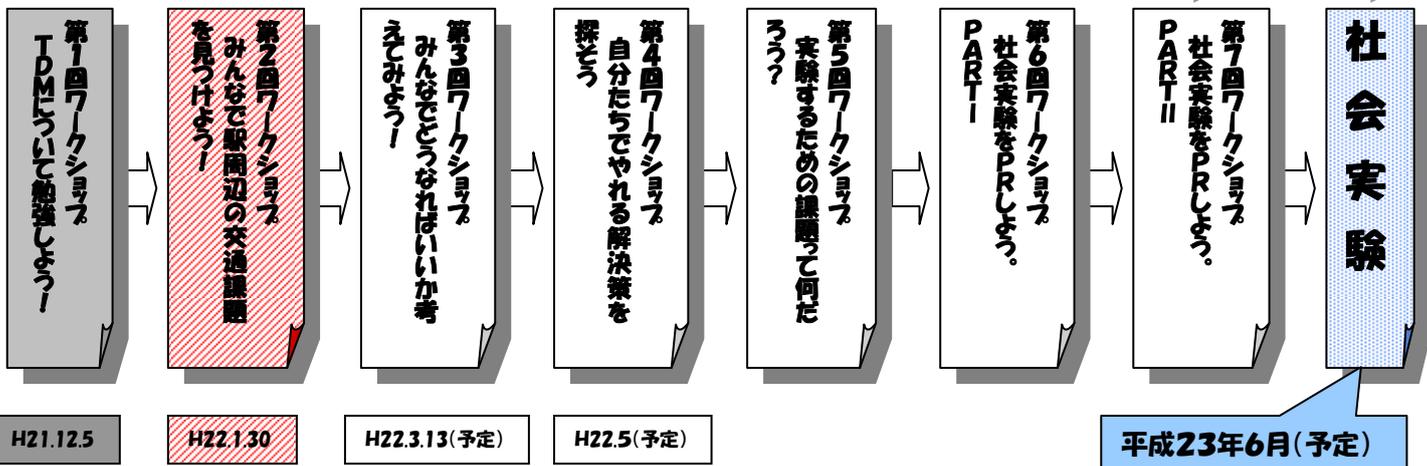
今回のワークショップでは、班別に地図を使って橋本駅周辺地区の交通課題を抽出していきました。話し合いも白熱し、参加していた皆さんが地域の問題について本当に真剣に考えていることを実感することができました。

今回は、初回ということでワークショップに慣れることが中心でしたが、次回からは本格的に議論を深めていくそうなので、これから地域でこの街の交通環境をどのように変えて行くのか、今後の展開が楽しみです。

## 今後のスケジュール

平成21・22年度

平成23年度



## 第2回ワークショップ 開催のお知らせ

**日時** 平成22年1月30日(土)  
午後1:30~4:30  
**場所** 相原高校2階会議室  
**内容** みんなで駅周辺の交通課題を見つけよう！

このニュースを見て興味がいいた方は、是非参加してください。  
都合の良い時だけの参加でも結構ですので、気軽にどうぞ。  
※要事前申し込み

受付: 市役所都市交通計画課  
(042-769-8249)

### ちょこっと寄り道

~ECOライフキャラクターの紹介~

### バ助っ人&ばすきー

相模原市に出現!!  
ECO生命体って知ってる!?

#### ばすきー

バスが好きな犬。ハスキー犬がバスに乗っているのを見かけたら、それはばすきーかも。バ助っ人と仲良し。



#### バ助っ人

家の近くから遠くへ行く手伝いをしてくれます。バ助っ人がいる場所では、気がつくあなたはバスに乗っているでしょう。

相模原市ECOライフ普及啓発キャラクター

## 渋滞緩和を目指してがんばろう！！

「渋滞緩和」ということで取り組む課題が非常に大きいので、ワークショップも回数を重ねて行う必要があります。地域住民の方、道路利用者の方の協力なくしてワークショップやTDMは実現不可能ですので、長い道のりですがみんなで力を合わせてがんばりましょう！渋滞緩和が実現できれば、地域の生活やまちづくりにとって非常にメリットが大きいです。地域と行政が連携した底力に期待しましょう。